

情報発信力の強化で組合員企業の知名度を向上

山梨県広告美術業協同組合（日高泰明理事長組合員 25 名）は、令和 5 年 8 月 4 日、8 日甲府商工会議所研修室において、組合ホームページと連動した組合員各社の紹介ページの強化を図ることを目的に株式会社少國民社の代表取締役社長依田訓彦氏を講師に招き研修会を開催した。

収入の主軸となっている屋内外の看板等の制作は、大手広告代理店の下請が多く、長期化するコロナ禍により仕事量が激減、業界は個人事業主や零細企業で構成しているため、高い技術力や必要不可欠な資格等を取得していても組合員は情報発信の術がなかった。また、物価高騰に伴う価格転嫁も情報発信ツールがないため、消費者から適正な価格なのか不信を招く可能性も高まり、昨年度、山梨県中央会が公募した「令和 4 年度物価高騰対応経営サポート事業補助金」を活用して、組合の情報発信を強化するべくホームページを初めて立ち上げたところ

であるが、これにより、これまで課題となっていた組合の事業活動や法律等による規定、条例等に加え、屋外

山梨県広告美術業協同組合

広告設置施設における安全管理等、山梨県や市町村など行政との連携強化に繋がった。特に、組合員紹介ページを通して個人の概要や技術力等を掲載したこと



で、高い信頼性を得られ他業者との差別化、競争力の向上に繋がった。紹介ページが A4 サイズで印刷できるため、自社のパンフレットとして活用もでき組合員からは好評であった。

今回の研修会では、組合員が情報発信を迅速に行えるよう各社の紹介ページの操作手順や配信内容の修正、追加、画像処理などについて学んだ。中川副理事長は、「組合のホームページを通して各社の信頼性を高め、高い技術力や様々な資格の保有の情報を開示することで、消費者に向け各社の知名度が高まった。また、組合員各社が積極的に情報発信し、新たな市場開拓や人材育成、人手不足の解消にも繋がることを期待している。」と語った。

